

11月の目次 *Menu*

- 02 シリーズ駅
大船渡線「陸中門崎駅」
- 03 **【愛】な人 いちのせきを愛する人**
渡邊亜里沙さん 緑のふるさと協力隊
- 04 **COVER STORY**
後藤定幸さん (花泉町油島)
- 05 **特集**
農業を体験しよう
まちのトピックス
一関で「第4回一関地方小学校陸上競技大会」/花泉で「エコライフ教室」/大東曾慶地区センターで「ファンタジスタショー」/千厩で「夜市でハロウィン」/東山・狛鼻溪で「1000万人達成記念セレモニー」/室根で「駒大苫小牧高吹奏楽局—スペシャルコンサート」/川崎運動広場で「川崎町民体育祭」/藤沢・岩手サファリパークにゾウが仲間入り
- 14 **市勢功労者表彰**
田島英一さん/杉内巖さん/田嶋徳穂さん
- 16 **百年目の寿**
今野まさゑさん/佐々木清一さん/金野カメヨさん/清水はな子さん
- 17 **市民の広場**
笑顔でGood(武田彩加) / キッズ写真館 / ふれーふれークラブ(厳美中) / ウチのご自慢 / 図書館だより / オススメイベント
- 18 **11月の健康コーナー**
11月の健康情報 / 休日当番医 / 健康塾(小野寺洋子栄養主査) / 元気のひみつ(廣長千鶴子)
- 20 **11月のお知らせ**
文化財探訪 / 博物館だより / 一関文化センター催し物案内 / 掲示板 / 市営住宅など入居案内 / 募集 / 催し / 講座 / 相談 / お知らせ
- 22 **NEWS HOTLINE**
一関一高生と豪エメラルド高生が交流 / 恵みに満ちた田んぼは笑顔も豊作 / 25年度の園児を募集
- 28 **PICK UP**
一関文化センターで「第23回東日本合唱祭」 / 一関で「国際ハーフマラソン大会」
- 30 **わたしの夢**
槻山泉咲さん 本寺小6年

COVER STORY

グリーン・ツーリズムは自然を楽しみながら田舎を体験する旅

花泉町油島の後藤定幸さんは、市内の交流実践団体を束ねる「いちのせきニューツーリズム協議会」の会長。

「訪れる人にとっては、自然を楽しみながら田舎を丸ごと体験できる旅。迎える自分たちにとっては、身近な自然や文化など、古里の資源や魅力を再発見できる機会。それがグリーン・ツーリズム」にとっことり。今年も5月に、東京・多摩市の中学生112人を受け入れた。子供たちと一緒に植えたコメは順調に生育。この秋、金色の稲穂を付け、深々と頭を垂れた。

「来てくれた生徒、受け入れた地域の人たち、そして大地の恵みに感謝したい」

グリーン・ツーリズムという手法で、人、まち、夢をつなぐ後藤さんの挑戦は続く。
(関連 特集「農業を体験しよう」)



岩手県一関市
Ichinoseki City

東北のほぼ中心、盛岡市と仙台市の中間にある一関市は古くから岩手県南、宮城県北エリアの中核を担ってきました。2005年9月20日に一関市、花泉町、大東町、千厩町、東山町、室根村、川崎村の7市町村が合併。11年9月26日には藤沢町と合併し、「人と人、地域と地域が結び合い、未来輝く いちのせき」を目指して確かな歩みを進めています。



■面積 1,256.25k㎡ ■人口 127,745人(男61,705人、女66,040人) ■世帯数 46,010戸 ■市花 なのはな ■市木 ぶな ■市鳥 うぐいす (以上2012年10月1日現在)

広報いちのせき

ichinoseki I-Style

いちのせきスタイル
2012年11月1日号
No.171



I-Style(いちのせきスタイル)は、岩手県一関市が発行する広報誌です。中東北の拠点都市を目指して独自のスタイルで前進する誇り高いいちのせき(Ichinoseki)のインプレッション(Impression=感動)、インテリジェンス(Intelligence=知的情報)とインフォメーション(Information=お知らせ)を伝え、古里の魅力を、価値を、エネルギーを発信する情報誌です。11月1日号の印刷経費は1部28円です。本誌は一関市のホームページでもご覧になれます。旬な情報を画面上でもお楽しみください。一関市ホームページ <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp>

農業を体験しよう

机上では学ぶことができない大切なことを大自然の中で体感するそれがグリーン・ツーリズム。都会では味わうことができない日常、農業を体験しようじゃないか。

動植物は空気、水、土、太陽の下、食物連鎖の中で成り立つ。私たちの生活に欠かすことのできない「食」。それを支えるのが農業であり、農家だ。食の大切さとは、農業の必要性とは。



稲こぎの間の一服(10月13日、花泉町花泉の高橋章さんの田んぼ)